

平成29年度静岡大学 職員海外派遣研修報告書

【研修日時】 平成29年12月12日～12月19日 8日間

【研修先】 ベトナム社会主義共和国（ハノイ・ホーチミン）

【研修者】	企画課	三井 美乃
	浜松学生支援課	新谷麻衣子
	総務課	海野 智也

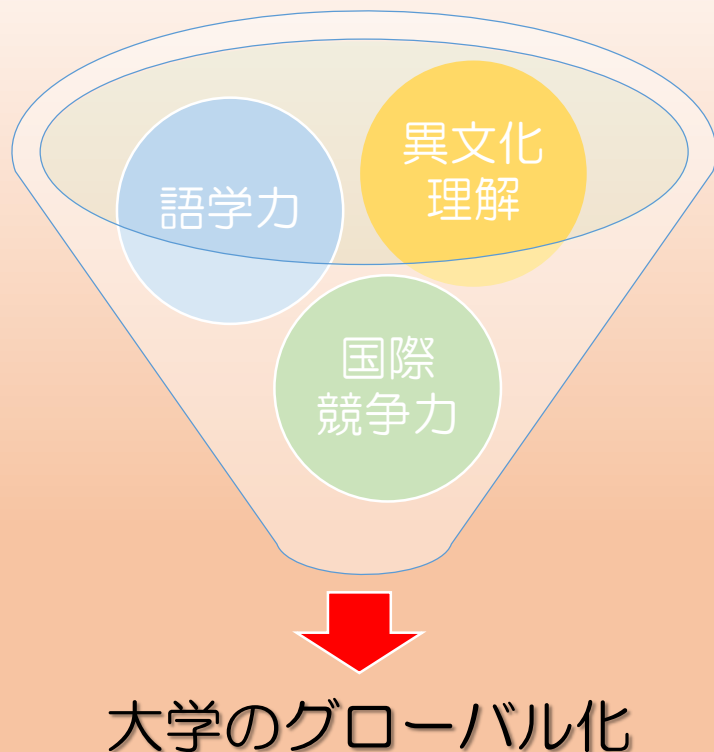


目次

研修目的	…	3
事前調査等	…	4
ベトナム基本情報	…	5
研修先及び報告	…	7
おわりに	…	27

研修目的

静岡大学事務系職員グローバル化研修の一環

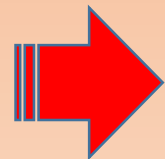


- 異文化理解、語学力向上に努める等グローバルマインドを醸成すること
- 海外の大学運営及び教育体制を理解すること
- ベトナムに進出している県内企業を訪問しABPの実績報告及び本学への要望等について聞き取り調査を行うこと

STEP 1 異文化理解・国際交流業務理解		STEP 2 語学力向上			STEP 3 海外派遣		他 自主研修	
異文化理解研修	国際交流業務理解研修	語学研修	ライティング研修	窓口対応マニュアル作成研修	海外派遣研修(企画型)	海外派遣研修(参加型)	自主研修	Web研修

事前調査等

- 本学と協定を結んでいる機関、留学生の数、ABPの概要・実績等、本学卒業生の訪問機関への就職状況、訪問先情報等を調査
- 各学部の留学生担当事務職員への聞き取り調査
 - ◎留学生が学んでおいたほうが良いこと
 - ◎留学生困ることあるある
 - ◎静大に留学してくるメリット（留学生談） など
- ベトナムからの留学生（3名）へのインタビュー
 - ◎日本に興味をもったきっかけ
 - ◎日本・静岡に対する印象
 - ◎静岡大学を選んだ理由
 - ◎日本に来て困ったこと、現在困っていること、相談する相手
 - ◎将来の目標 など



上記をもとに、静岡大学紹介資料、研修のしおりを作成



現地日本語学校学生向け紹介資料

ベトナム基本情報

ベトナム社会主義共和国



国名	ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Viet Nam
面積	33万1,690平方キロメートル（日本の0.88倍）
人口	9,270万人（2016年、出所：ベトナム統計総局（GSO））
中位年齢	29.6歳（2015年）
言語	ベトナム語、ほかに少数民族語
宗教	仏教（約80%）、そのほかにカトリック、カオダイ教、ホアハオ教など
公用語	ベトナム語
在留邦人数	16,145人（17位 前年比 +9.9% 2016年10月、外務省）
国際競争力	55位/137か国・地域中（2017年、世界経済フォーラム）
ビジネス環境	90位/189か国・地域中（2015年11月、世界銀行）
世界遺産登録数	8（文化遺産(5) 自然遺産(2) 複合遺産(1)）

“政治・文化の中心都市” 首都、ハノイ
人口：732万8,000人（2016年）
1人あたりGDP：3,728ドル（2016年）

ベトナム最大の“商業都市” ホーチミン
人口 829万8,000人（2016年）
1人あたりGDP：5,650ドル（2016年）



出所：日本貿易振興機構



日本企業進出状況

企業数：1,637社

企業名：キヤノン、パナソニック、ホンダ、トヨタ、富士通、日本電産、ブリヂストン、富士ゼロックス、マブチモーター、イオン、ファミリーマートなど

- ・ベトナム日本商工会（ハノイ、ハイフォン、北部ベトナム）652社（2017年3月）
- ・ホーチミン日本商工会 876社（2017年3月）・ダナン日本商工会 109社（2017年3月）

日本企業の投資件数と投資額

年	件数	投資額（ドル）
2014	517	22億9,900万
2015	475	18億300万
2016	574	25億1,000万

備考：認可ベース、新規・拡張含む
出所：外国投資庁（FIA）

日本企業進出状況投資（進出）に関連した特長、問題点

1. 従業員の賃金上昇
2. 原材料・部品の現地調達の難しさ
3. 品質管理の難しさ
4. 通関等諸手続きが煩雑
5. 競合相手の台頭（コスト面で競合）

外国企業の進出や中間層の増加などを追い風に、近年急速に都市開発が進んでいる。二輪車や自動車が急普及するも、信号機のない交差点や悪路も多く、潜在的なインフラ需要は大きい。

ホーチミンでは日本のODAなど支援の下、ベトナム初のMRT（地下鉄）を建設中、2020年にはメトロ1号線が開通予定。

教育制度

5-4-3制。小学校は5年制（6歳～）、中学校は4年制、高校は3年制。高等教育機関である短期大学は3年制、大学は4年制（医学部等は6年間）、大学院は4年制（修士課程2年間、博士課程2年間）。義務教育は小・中学校の9年間。

外国語の中での日本語の人気

ベトナム全体の初等・中等教育機関数からみると日本語教育実施校は依然ごく一部に留まっているが、初等教育では第一外国語として日本語が5校に試験導入され、中等教育では日本語教育実施校が年々増加傾向にあるなど、英語以外の外国語では日本語の存在感が高まりつつある。

近年の就職、留学、技能習得への関心を背景に、工業系・理科系、医療・看護系の大学や短期大学でも、日本語学習が広がっており、また、新たに日本語コースを開校したいとの希望も多くなっている。

アニメやマンガをきっかけに日本語学習を始める若者や就職や昇進のため試験合格を目指し熱心に日本語を学ぶ学生や社会人がいる。日系企業の進出増加、技能実習生の増加や留学希望の拡大に伴い、民間の日本語学校においても、基調として日本語学習者が増えている。

最新動向

初等教育では、2016年9月の新学期より、「2020年国語国家外国語プロジェクト」のもとで、小学3年生からの日本語教育導入が開始された。

日本語能力試験はハノイ、ダナン、ホーチミンで年2回実施されている。ベトナムにおける2016年の受験者数は約5万6千人で東南アジア第1位である。

日越EPA（経済連携協定）に基づく介護・看護分野における日本語教育が2012年12月よりハノイにおいて開始され、2016年12月より、第五期生が日本語学習を開始している。

2016年時点で、ベトナムから日本への留学生数は約5万9千人で世界第2位、東南アジアでは第1位であり、近年の留学生の急増にともない、日本の大学が当地の大学と連携する動きがますます盛んになってきている。

研修先及び報告

日付		訪問先	都市	
12/13	am	① 一心日本語教育センター	ハノイ	
	pm	② ASTI ELECTRONICS HANOI CORPORATION		
12/14	am	③ ENSHU VIETNAM CO., LTD.		
	pm	④ ENKEI VIETNAM CO., LTD.		
12/15	am	⑤ ハノイ国家大学外国語大学		
		⑥ 国際大学ハノイオフィス		
	pm	⑦ 日本貿易振興機構（JETRO）ハノイ事務所		
12/16		休日（文化研修）		
12/17		休日（移動日）		ハノイ→ホーチミン
12/18	am	⑧ UNICCS VN CO., LTD.		ホーチミン
	pm	⑨ 筑波大学ホーチミンオフィス		
12/19	am	⑩ ドンズー日本語学校ビンミー留学生センター		
	pm	⑪ SMARTNET CO.,LTD.		

訪問先① 一心日本語教育センター



訪問日時：12月13日 10:00-11:30

ご対応者：PHAM THU HA 先生（営業部主任）

LE THI NHUNG 先生（教育部部長）

CAO THI ANH 先生（日本語教師）

【センター概要】

- 2011年創立、現在約200名の学生・35名の教職員が在籍
- 高校卒業後、提携する学校（現在13校）から選抜・推薦された者のみ入学できる
- 全寮制で5時半起床～22時就寝まで、規律正しい生活を送る
- 約3ヶ月～半年後、技能実習生や留学生として日本へ
来日後、さらに高いレベルを目指して東京等の日本語学校へ進む学生もいる
- 大学入学が決まっても、辞退してまで入学をする若者もいる

訪問先① 一心日本語教育センター



静大(日本留学)に興味のある学生26名に静大の紹介を行った



ABPの入試日程、静大で学べる学問について等、積極的に質問をしてくれて、**勤勉さ**を感じた

姿勢よく、**大きな声で挨拶**をすることが、徹底されている



その他、寮の部屋や授業風景を見学

訪問先② ASTI ELECTRONICS HANOI CORPORATION



訪問日時：12月13日 14:00-16:00

ご対応者：永田 友一様 (Senior Manager) ※本学人文学部卒業生

【会社概要】

設立 2006年11月

(本社は、浜松市にあるASTI株式会社様 海外子会社5社のうちの一つ)
ハノイ近郊に最新の大規模電子基板実装ラインを中心とした工場を構え、
電子基板をベースとした様々な電子部品を車載、家電など多業種の日系
メーカーに供給

従業員数 1,150名 (うち日本人4名)
二輪に使用されるワイヤーハーネス部門に約900人
各製品に組み込まれるPCB部門に約200人参考

参考 (本社関係)

2012、2016年度卒業生各1名就職
静岡大学産学連携協力会に参画いただいている

【本学へのご意見】

FaceBookを活用し、大学をPRしたらどうか。

※ベトナムでは、利用率がかなり高い 国家を挙げてのネット環境の整備 (Wi-Fi) が進んでいる



訪問先② ASTI ELECTRONICS HANOI CORPORATION



妊娠中の従業員専用のレーンがあり、負担の少ない作業を担当させる等の工夫がされている

ハノイでは、韓国資本が日本資本の約10倍を占めるため、従業員の転職が多い
→ “真面目で親日なベトナム人” を従業員として重宝するための工夫が必要

- ①社内において日本語研修あり（日本語が話せることを条件に採用することもある）
- ②全アスティグループ内で改善事例発表会を開いて、優秀なグループは日本で行われる発表会に参加できる（ベトナム支社が最優秀チームに選ばれたこともある）
- ③社内イベントを開催し、会社への帰属意識を高めている

訪問先③ ENSHU VIETNAM CO., LTD.



訪問日時： 12月14日 10:00-11:30

御対応者： 内山 浩一様 (General Director)

栗田 和典様 (General Manager of Administration)

内山 和之様 (Factory General Manager)

【会社概要】

設立 2011年11月

(親会社は、浜松市にあるエンシュウ株式会社様 海外拠点12ヶ所のうちの一つ)

事業内容

輸送機器部品の製造 (モータサイクル用ピストン、ボディシリンダ)

工作機械及び部品の販売

従業員数 (2017年11月現在)

男性143名/女性23名 計166名 平均年齢24.9歳

日本人駐在員 3名

参考 (エンシュウ株式会社関係)

山下晴央代表取締役社長は静大工学部卒業

2012年度より毎年就職実績あり

静岡大学産学連携協力会会員、未来創成基金グローバル人材育成アジアブリッジプログラム特定事業後援会理事に就任
いただいている。



訪問先③ ENSHU VIETNAM CO., LTD.



経営理念

売ってよろこび、
買ってよろこび、
作ってよろこび、
一生懸命につとめ
共生共栄を旨とする

工場内には、各所に“品質絶対”・“安全第一”の看板あり

三交代制で24時間稼働体制

日本語検定能力試験に合格している従業員が13名(N1・1名を含む)
おり、検定合格者は手当あり

女性の比率が少ないが、最後の製品チェック等、大切に細かい作業の
ポジションでは、女性従業員が活躍中



訪問先④ ENKEI VIETNAM CO., LTD.



訪問日時：12月14日 13:30-15:30
ご対応者：白瀧 成二 様 (General Director)
中村 仁美 様
岩本 光将 様



【会社概要】

設立 2007年設立 2008年稼働

(本社は、浜松市にあるエンケイ株式会社 様 海外子会社15社のうちの一つ)

事業内容

二輪・四輪用アルミホイールの製造

従業員数

計405名 (赴任及び現地採用の日本人8名含む。) うち女性は71名 平均年齢30, 8歳

参考 (本社関係)

2012年度卒業生 1名就職

静岡大学産学連携協力会会員 (グループ会社の(株)エンケイエンジニアリング 様)、未来創成基金グローバル人材育成アジアブリッジプログラム特定事業後援会常任理事に就任いただいている

訪問先④ ENKEI VIETNAM CO., LTD.



独自の教育、評価方法

安全実践活動…各工程の危険度をABCで判定し、視認できるようにする
安全教育

5S監査…常に進化する工場経営を目指す

エンケイDNA15ヶ条…従業員内の共通認識を持ち、帰属意識を持つ

BEP経営…損益分岐点を上げる努力

日々決算システム…毎日、生産数、生産状況等を数値化

月次評価8RProject…月ごとに複数項目で評価を行う



工場敷地内に菜園、事務所内は白を基調とした造り

→ 無機質になりがちな工場内を有機質化

従業員を家族のように思い、大切にすることが大事

訪問先⑤ ハノイ国家大学外国語大学



訪問日時：12月15日 9:30-12:30

ご対応者：NGO MINH THUY 先生（副学長）

BUI DINH THANG 先生（協力開発部 副部長）

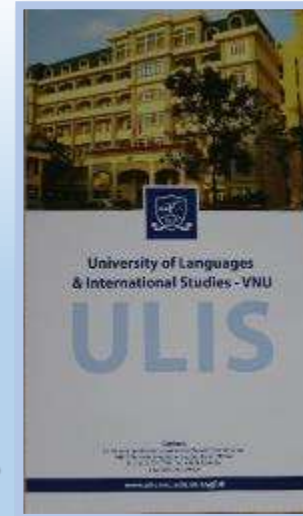
DAO THI NGA MY 先生（日本語文化学部 学部長）

PHAM THI THU HA 先生（日本語文化学部 日本語学部門長）

内野 英治 先生（東洋言語文化学部 講師）

【大学概要】

- 国家大学≠国立大学であり、国家大学は政府直属で、国立大学はベトナム教育訓練省の管轄
- ハノイ国家大学外国語大学は、ハノイ国家大学を構成する大学7校、学部4学部のうちの1校
- 言語、国際学及び関連する人文社会科学分野における同国有数の大学で、1万名を超える学生が在籍し、日本語を教える附属高校も擁している



訪問先⑤ ハノイ国家大学外国語大学



150～170名の新入生（日本語学部）のうち、中等教育機関で日本語を勉強していたのは1割程度

卒業後は日系企業への就職が7割・日本への進学又は就職が3割

ベトナム政府は各大学の**法人化**を目指している（財政も含め自立させる方針 2014年政府決定書77号）

→他大学との競争が厳しい中、国際戦略含む大学運営の見直しが必要

→**東アジア教育研究センター**（仮）を開設し、ベトナム・日本・中国・韓国の研究推進及び国際化を進める



教職員のグローバルスタディーツアーの実施

→**SUN Program**（STUDY TOUR FOR ULIS NEBULA IN JAPAN
ULIS星雲のスタディーツアー in JAPAN）

教職員が日本の大学を訪問し、運営の仕方を学んだり、ジョイントプログラムや、教員交換の可能性について検討する**スタディーツアー**

第1回は16名が参加（千葉工業大学、法政大学ほかを訪問）

第2回では、桜が見える時期に**静岡大学訪問を希望**

訪問先⑥ 国際大学ハノイオフィス

訪問日時：12月15日 12:50-13:20

ご対応者：内野 英治 先生（ハノイ共同事務所 共同所長）



【オフィス概要】

- 2015年11月、国際大学初の海外拠点として開所
- 従前から国際大学言語教育研究センターと日本語教育に関する連携あり
- 国際大学の広報活動を行いながら、ベトナムの大学・研究機関等との関係構築、連携強化活動を展開し、日本のグローバル化を牽引していくことを目指している
 - 進学相談、就職相談、**“卒業生と日系企業のマッチング”**なども行う
 - 国際大学だけでなく静大含む日本の大学の紹介もしてくださっている
- ハノイ-新潟情報交換会（2018.1.22~23 主催：長岡技術科学大学、国際大学、ジェトロ新潟）を企画
 - **県内大学、ジェトロと連携した事業**



訪問先⑦ 日本貿易振興機構（JETRO） ハノイ事務所



訪問日時：12月15日 14:00-15:30
ご対応者：後藤 隆起 様（静岡県からの出向）

【機構概要】

事務所数

国内：47拠点（本部含む）、アジア経済研究所、日本食品海外プロモーションセンター（JFOODO）

海外：54か国 74事務所（2017年11月1日現在）

※ベトナム国内には、ハノイ、ホーチミンの2事務所を設置

職員数 1,803名（2017年10月1日現在）

JETROの使命3本柱は**輸出・進出・対日投資**

国内外のネットワークをフル活用し、かつ最新のビジネス情報をキャッチアップしながら、日本企業のベトナム進出に伴い、投資環境、労務問題、会社設立実務等、広範囲にわたる貿易投資相談を行う

静岡が“『親日』ではあるが『知日』ではないベトナム”をターゲットにするためには、**地元自治体と大学が連携**して取り組むことも重要

訪問先⑧ UNICCS VN CO., LTD.



訪問日時：12月18日 10:00-13:00
ご対応者：グエン アン 様
コア 様
フユイ 様
トゥエン 様
藤貞 努 様（取締役社長）（TV会議）

【会社概要】

設立 2012年7月

（本社は、静岡市にある株式会社ユニックス 様 海外子会社2社のうちの一つ）

事業内容

流通小売業向けパッケージ製品の販売・販売

従業員数

男性16名/女性6名 計22名 すべてベトナム人

参考（本社関係）

静岡大学未来創成基金グローバル人材育成アジアブリッジプログラム特定事業後援会に参画いただいている



訪問先⑧ UNICCS VN CO., LTD.



ホーチミンでは稀有である**100%子会社**
現在は、本社（葵タワー内）からの受注（小売業向けシステム開発会社からのソフトウェア開発受託が中心）のみ
→将来的には**日系小売業からの直接受注やベトナム流通業向けへの進出**を見据えている

受注内容を難易度（A～C、Aが最も高難易度）別に分けると、Aが20%、Bが37%、Cが43%となっており、**Aの比率が年々増加**している状況
→実績をあげている

- 毎週金曜日は従業員がお揃いのユニフォームを着用
- 女性の日（男性が女性にプレゼントをして、日頃の感謝の気持ちを表す日）や男性の日には、社内でイベントを行う
- 社員旅行の実施
→**社員同士の結束を高める**



地元の人気店にてベトナム料理をご馳走になりました

訪問先⑨ 筑波大学ホーチミンオフィス



オフィスはホーチミン市医科薬科大学内



訪問日時：12月18日 14:00-15:00
ご対応者：NGO THI DOAN PHUONG 様
(国際連携コーディネーター)

【事務所の概要】

筑波大学3番目の海外拠点として、平成21年8月6日に開設
学術交流のための情報収集・支援、優秀な留学生確保のための
業務、本学からの研究者及び派遣留学生の支援等の業務を行い、
交換留学・インターンシップ・サマースクールなどの学生交流
プログラムの支援を目的とする

筑波大の留学生約2,500人（国立大では東大に次ぎ2番目の多
さ）のうち、ベトナム人は約80人

**ベトナム人コーディネーターのPHUONGさんが常駐し、筑波
大の日本人学生がワークショップ（1週間程度）で訪れる際の
コーディネートや現地入試の支援等を行っている**

訪問先⑩ ドンズー日本語学校 ビンミー留学生センター



訪問日時：12月19日 9:00-13:30
ご対応者：QUANG TINH NGHI 先生（副校長）
武智 咲里 先生（専任教師）



個人のスペースは、二段ベッド

【学校概要】

1991年、ホ工校長が祖国発展のため日本から科学技術を入れようと、日本語教育を行うためホーチミン市にドンズー日本語学校を設立
一般コース（大学生・日系企業・私費・興味がある方）と留学コース
合わせて5,000人以上の学生が就学中

全寮制、5時半起床・22時就寝という規則正しい生活

訪問先⑩

ドンズー日本語学校 ビンミー留学生センター



静大(日本留学)に興味のある学生10名に静大の紹介を行った

目が合うたびに、お辞儀をして“先生、こんにちは！”と大きな声で挨拶をしてくれた

英語・日本語・ベトナム語を流暢に話す学生もおり勤勉さと日本留学への熱意を感じた

校長先生の別荘を改修し、留学生センターを設立

教室の内外で犬が寝ていたり、自然に囲まれた土地で、寮生活及び学校生活を送っている

→同じ志を持った仲間と勉強することに特化した環境
厳しさやホームシックでやめる学生もいる



訪問先⑪ SMARTNET CO.,LTD.



訪問日時：12月19日 14:00-15:00

ご対応者：TRAN HOANG VU 様（代表取締役）
（静大海外同窓会ベトナム支部同窓会長）

【会社概要】

設立 2011年（日本で就職（9年）後、帰国して起業）
（現在のように、**留学環境が整う前から、強い信念をもち苦勞して起業**）

事業内容 ITオフショア開発、IoT、AI自社製品開発

従業員数 20名（うち東京支社2名）すべてベトナム人

SMART PHONEをはじめとするIT関連の仕事をするうえで
出会いや絆（**NET**）を大切にしている

静大への要望：

静岡はあまり知られていない、県と大学が連携してPRしたらどうか

後輩へのメッセージ：

一生懸命勉強してください。就職するためには、スキル（日本語と英語）がかなり必要です。まずは、**基本的な知識を身につけて**ください



文化研修



世界遺産・タンロン遺跡



タンロン水上人形劇場



ソフィテルレジェンド
メトロポール



マダムヒエン



ベトナム民俗学博物館



大教会



ホーチミン市街地



ハノイの風景



ホアロー収容所

おわりに(大学への提案、今後の研修の在り方)

- ・ABP等、本学の留学生に期待する進路を、大学が提供してあげられる環境づくりが重要
- ・一人ひとりが広報マンであることを意識し、情報発信力を向上させる取組が必要
- ・研修生の選定の際は、やる気、能力、適性を考慮した研修者の選定が必要

所感

三井 美乃	<p>5日間で11機関の訪問は、対応してくださった方々に恵まれ、とても充実したものであったが、ABPや海外オフィスについて、本学が抱えている課題、国際連携推進機構の将来構想や本研修に期待することなど、もっと勉強、理解してから参加すべきであったと反省している。</p> <p>今回、自分の力不足を痛感させられる研修であったため、短所を克服するため日々努力していきたい。</p> <p>このような貴重な機会を与えてくださった関係者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。</p>
新谷麻衣子	<p>本研修によって初めての海外渡航を経験し、言葉や文化が違うことで必要以上に身構えずに、積極的に伝えようとするのが大事であると感じた。また、訪問先のベトナムの方々は気持ちの面でも若々しく、ベトナムや大学・会社をよりよくしようというパワーに溢れていると感じた。日々の業務を淡々とこなすだけではなく、そういったパワーを身につけられるよう、意識を高めていきたいと思う。</p>
海野 智也	<p>本研修を通して一番強く感じたことは、“自己紹介”の重要性である。伝える力で重要な要素は、いかに「自分の国、地域、大学に対しての理解力」があるかだと考える。学内の他部局のことや、他の業種、他国のこと等、様々なことにアンテナを張って、自ら学ぶことが、伝える力を伸ばすために重要だと感じた。</p>